



洪水の度に繰り返す掘削。水が上がったら埋まると諦め顔

この程度の被害はあったが目立った被害は見かけなかった。



今津水門工事現場高潮に襲われ建設機械水没した。

〇メートル地帯の多い尼崎市は高潮被害を免れた。尼崎港のゴミ



台風 21 号の強風が仮設事務所吹き飛ばしてしまった。

強風に耐えたテント、因みに住人は避難し何も知らないという。





2018/09/09

土砂に埋まる潜水橋、砂入りの葎原が可愛そう。



2018/09/10

日野町の榎根腐れ倒壊、風景一変した。



2018/09/10

名神橋梁右岸の樹齢 25 年の榎倒壊、根っこが堤防傷める



2018/09/22

5号堰上流砂州の柳に流木が大量に引っ掛かり柳も倒れた。



2018/09/17

ここだけ風が吹き抜けたのかサクラが折れ、オニグルミ倒壊



2018/09/17

車中からでよく分からないが有馬川堤防表面が洗われた模様。

8月末の台風20号に引き続き、9月4日台風21号、10日の秋雨前線降雨、21にも纏まった工があり、河川施設に大きな被害は見られなかったものの、台風21号の強風に煽られて倒木が多かった。武庫川河口部で若い松が半分に折れたり倒れたりしていたほかに松の倒木は殆どなかった。しかしセンダン、アキニレ・ハルニレの大木が根っこから倒壊していた。堤防法面に生えていた大木が倒れ堤防法面を崩し天端近くまで増水していたら堤防決壊の引き金になりかねず、河川内外の樹木管理が今後の課題になるだろう。背丈くらいの樹木なら流木化しても問題にならないだろうが、直径50cm樹高10m程度の大木の倒壊が目立ち流木化したら、下流の河川施設に被害発生が見込まれる。

高潮と強風で甲子園浜埋め立て地のウインドーサフィン施設水没。翌日見た住宅街は何事もなかったように平穏だったが、今津水門工事現場で建設機械が水没1億円程度の損害発生した模様。甲子園浜・今津浜へ大量のゴミが押し寄せたにも関わらず、尼崎市内で風で橋の欄干が折れ曲がる被害も伝え聞いたが屋根瓦が飛ばされるスポット的な被害発生させた台風だった。大変だったのは、経験したことのない停電で明かりも情報もない不安な時を過ごしたこと。